

公益社団法人 東京生薬協会

平成 28 年度

(2016年4月1日~2017年3月31日)

事業報告書、計算書類

# I 平成28年度 事業報告

## ■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その1）

生薬、薬用植物に関する知識や情報の啓発により、国民の健康増進に寄与する事業を実施した。

### 1) 薬草観察会 (学術委員会)

#### ① 春の薬草観察会

- ・開催日：平成28年5月29日（日）10:00～15:00
- ・場 所：弘法山（秦野市）
- ・講 師：和田 浩志、磯田 進、南雲清二、鈴木幸子、高橋 宏之(敬称略)
- ・参加者：81名
- ・参加費：無料（保険料100円）

#### ② 秋の薬草観察会

- ・開催日：平成28年10月16日（日）10:00～15:00
- ・場 所：東京薬科大学 薬用植物園
- ・講 師：和田 浩志、磯田 進、南雲清二、鈴木幸子、三宅克典(敬称略)
- ・参加者：156名
- ・参加費：無料（保険料100円）

### 2) 薬草収穫感謝の会 (総務委員会)

- ・共 催：東京都、(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、(公社)東京都薬剤師会、本町生薬会
- ・開催日：平成28年11月5日（土）10:00～15:00
- ・場 所：東京都薬用植物園
- ・講 師：(公社)東京生薬協会学術副委員長 清水 虎雄
- ・演 題：「東京都薬用植物園の今昔—開園70周年—」
- ・参加者：150名受講
- ・植物園見学参加者：85名
- ・入園者：1,326名(対前年比118%)
- ・記念品配布者数：400名(花の苗400鉢、お土産袋400袋)

### 3) 第32回 生薬に関する懇談会の開催 (学術委員会)

市場に流通する主要生薬について、基原植物、栽培、流通、品質、薬理、臨床などの多面的な視点から研究報告や意見交換を行う場として、産学協同で開催した。

- ・共 催：日本生薬学会関東支部、公益社団法人東京生薬協会
- ・開催日：平成28年12月3日（土）13:00～18:00
- ・会 場：星薬科大学
- ・テーマ：五味子(ゴミシ)
- ・参加人数：326名
- ・参加費：3,000円、懇親会費：2,000円

#### 4) 薬用植物・生薬に関する講座

(学術委員会)

会員及び国民を対象に、薬用植物や生薬に対する基本的知識を提供することにより、薬用植物・生薬、薬用植物園などに幅広く興味をもっていただけるよう、開催した。

- ・テーマ：生薬・漢方からのセルフメディケーション
- ・開催日：平成28年9月～平成29年3月の日曜日（5回シリーズ）
- ・参加費：1回2,500円 ・参加者合計328名（対前年比102%）

開催日	12:30～14:00	14:15～15:45	参加者数
【第1回】 9月25日(日)	洋の東西に養生を尋ねて 東京生薬協会 学術委員会委員長 山内 盛 先生	心安らぐ漢方 青山杵淵クリニック 院長 杵淵 彰 先生	63
【第2回】 10月30日(日)	曲直瀬道三（啓迪集）に学ぶ養生法 東京医薬専門学校 専任講師 庄司 良文 先生	女性が美しくなる漢方 ヨシコクリニック 院長 高木 嘉子 先生	59
【第3回】 11月27日(日)	今に生きる伝統薬 元東京東京都薬用植物園 園長 清水 虎雄 先生	母子のための漢方 聖マリアンナ医科大学 客員教授 崎山 武志 先生	66
【第4回】 12月18日(日)	漢方処方に使われる薬用植物について 東京理科大学薬学部 准教授 和田 浩志 先生	漢方で快適な冬を過ごす 東海大学医学部 准教授 新井 信 先生	73
【第5回】 1月22日(日)	薬膳による養生の世界 イスクラ産業株式会社セクションリーダー 原 三貴 先生	中高年が常備薬とする漢方 医療法人社団 金匱会診療所 所長 山田 享弘 先生	67

#### 5) OTC医薬品とセルフメディケーションの啓発活動

(事務局)

- ・主催：(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、(公社)東京都薬剤師会、日本一般用医薬品連合会（日本OTC医薬品協会、日本家庭薬協会）、(公社)東京都医薬品登録販売者協会
- ・後援：厚生労働省、東京都、日本商工会議所、東京薬科大学
- ・協賛：くすりの適正化協議会
- ・開催日：平成28年9月9日(金)～10日(土)
- ・会場：新宿西口地下広場イベント会場
- ・出展社：29社
- ・来場者：2日間で約3万人
- ・内容：模擬店舗、アンケート調査、クイズラリー、e健康ショップ、検体測定室、

健康チェックコーナー、調剤体験コーナー、ハンドマッサージコーナー、懐かしいくすり展、薬剤師の仕事展

6) 会報の発行 (7月、1月) (広報委員会)

- 生薬や薬用植物に関する最新情報や薬用植物園に関する情報を提供し、また協会の活動状況をお知らせするために年2回発行し、会員及び大学、関係団体等へ配布した。
- 発行部数：450部

7) 協会ホームページの更新 (広報委員会)

- ホームページでの「お花の見頃情報」や「最新イベント情報」「薬用植物国内栽培事業」などを随時更新した。
- 協会に関する基本情報についても更新した。
- 第17局改正に伴い、既収載の「新常用和漢薬集」の内容を見直し、局方に準じた内容にした。(117生薬)
- ホームページへのアクセス状況

期 間	訪問数	ユーザ数	ページビュー数	新規訪問割合
2015/04/01-2015/09/30	41,752	27,406	120,206	61.98%
2015/10/01-2016/03/31	33,259	22,415	90,262	62.34%
2014(平成27年)年度合計	75,011	49,821	210,468	
2016/04/01-2016/09/30	45,642	28,586	120,569	60.41%
2016/10/01-2017/03/31	33,679	22,544	85,859	63.92%
2016(平成28年)年度合計	79,321	51,130	206,428	
下期 前年同期比	101.26%	100.58%	95.12%	
年間 対前年比	105.75%	102.63%	98.08%	

8) ふれあいガーデン事業(参加者合計：457名 対前年比 96%) (事業管理委員会)

東京都薬用植物園ふれあいガーデンの実施

- 平成28年度は、薬用植物園のサービス向上を目的として、「東京都薬用植物園ふれあいガーデン共同事業体」(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、北部緑地(株)の3者共同事業体にて、園内400㎡を対象に薬用植物に関連した事業(下記のイベント等)を実施した。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	参加者数
4月	9日(土)	闘病と薬膳 春	近藤 美春	51
	16日(土)	ハーブとともにある暮らし	小泉 美智子	25
	23日(土)	光と風の中の薬草四季	池村 国弘	53
5月	21日(土)	グリーン・グリーン・リース	田淵 清美	30
6月	4日(土)	颯爽アロマ	鈴木 悦子	27
	11日(土)	薬膳 猛暑を乗り切る	近藤 美春	55
7月	2日(土)	ハーブで夏をさわやかに	小泉 美智子	30
10月	8日(土)	野の花を活ける	加藤 治草	21
	22日(土)	草木で染める・染まる	山 浩美	30
11月	12日(土)	落語に見る食の風景 その1	一升亭吞介	47
	19日(土)	手湯でポッカポカ	小根山隆祥	19
	26日(土)	薬膳 厳冬を乗り切る	近藤 美春	51

## 9) 新常用和漢薬集の改訂

(学術委員会)

ホームページ上の新常用和漢薬集に掲載されている生薬を日本薬局方(17局)と照合する作業を実施し、改訂作業を実施した。

11品目追加し、公開品目数は、117生薬となった。

## ■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動(その2)

### 【東京都薬用植物園受託事業】

(事業管理委員会)

東京都薬用植物園の管理事業の全面委託に伴い、今までの実績を生かして薬用植物や生薬に対する知識・情報を国民に対し正しく普及し啓発する活動を積極的に実施した。

#### 1) 東京都薬用植物園の事業管理

(1) 東京都薬用植物園の総合案内を行った。

窓口対応：開園時間帯における来園者対応 : 873件

電話対応：開園時間帯における電話等照会対応 : 1,119件

園内管理：土、日、祝日対応 : 116日

年間来園者数 : 125,140人(対前年比99.6%)

(2) 栽培補助業務(標本栽培区、温室、育苗その他) : 延べ1,638人/年

(3) 調査研究、鑑定、鑑別補助作業(ケシ、アサ、サボテン類、違法ドラッグ、トウゴマ等農作業補助、データ整理、文献調査、計測等の補助業務) :

延べ517人/年

(4) 普及啓発事業（詳細は各項）：55 日間実施、参加者数：2,524 名  
協会の応援人数延べ：49 人

(5) 印刷物等作成

植物園案内パンフレット	10,000 部
写真で見る絶滅危惧種植物	5,000 部
「四季の薬草」パンフレット	5,000 部
ケシ鑑別マニュアル	0 部
種子交換リスト	400 部
講習会等の参加者用資料、掲示用ポスター類	2,080 部
野外展示用ラベル及び立て札	72 枚
ケシ講座他	2,000 部

(6) 東京都薬用植物園建物・施設の管理

保守点検：冷暖房、防火設備、ボイラー、電気設備、給水タンク、温室等

栽培管理：沿道植栽樹木、病虫害駆除、通路の草刈等

清掃：薬事資料館、研修室、標本室、トイレ、廃棄物の処理等

警備：薬事資料館、研修室、収納舎、ケシ・アサ栽培区等

## 2) 普及啓発・研修業務

(1) 薬草教室の開催（会場：東京都薬用植物園）

薬草教室を年間 8 回実施した。合計参加者：810 名（対前年比 89%）

来園者数：3,811 名（対前年比 92%）

	開催日	講演内容	講師(敬称略) (所属)	参加者数	来園者数
1 回	4月4日(月)	日本の桜 ～ソメイヨシノの起源を解明～	中村 郁郎(千葉大学教授)	76	452
2 回	5月26日(木)	森に学ぶ～樹々が森をつくる～	杉本 和永(玉川大学元教授)	113	729
3 回	6月16日(木)	歯科治療の今昔～身体は一つつながっている	武内 久幸(吉番館デンタルクリニック院長)	78	414
4 回	7月14日(木)	梅の効用	小磯 道夫(うめ八社長)	120	371
5 回	8月25日(木)	皮膚疾患と漢方	大野修嗣(大野クリニック院長)	133	361
6 回	9月13日(火)	薬用植物・ハーブに発生する病虫害	堀江博道(法政大学植物医科学副センター長)	68	308
7 回	10月25日(火)	植物の香りに学ぶ	井上道晶(花王㈱香料研究室第3室長)	118	509
8 回	11月16日(水)	漢方で寒い冬をのりきろう!	新井 信(東海大学医学部准教授)	104	667

(2) 薬草観察会の開催（講師：東京都薬用植物園職員）

① 春の薬草観察会

平成 28 年 5 月 29 日(日) 弘法山(秦野市) 81 名

② 秋の植物観察会

平成 28 年 10 月 16 日(日) 東京薬科大学 薬用植物園 156 名

(3) 薬草の普及啓発講座（合計参加者：948名 対前年比 113%）

平成 28 年度は以下のような薬用植物に関する普及啓発講座を実施した。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	協会	草屋舎	参加人数
4月	9日(土)	闘病と薬膳 春	近藤 美春		○	51
	16日(土)	ハーブとともにある暮らし	小泉 美智子		○	25
	23日(土)	光と風の中の薬草四季	池村 国弘		○	53
5月	1日(日)~20日(金)	ケシのパネル展	展示	○		—
	7日(土)・8日(日)	ケシのミニ講座	薬用植物園職員	○		171
	21日(土)	グリーン・グリーン・リース	田淵 清美		○	30
6月	4日(土)	颯爽アロマ	鈴木 悦子		○	27
	11日(土)	薬膳 猛暑を乗り切る	近藤 美春		○	55
7月	2日(土)	ハーブで夏をさわやかに	小泉美智子		○	30
	24日(日)	薬草クイズラリー	東京生薬協会	○		164
8月	4日(土)	夏休み親子植物教室	中山麗子	○		31
10月	8日(土)	野の花を活ける	加藤 治草		○	21
	22日(土)	草木で染める・染まる	山 浩美		○	30
11月	12日(土)	落語に見る食の風景 その1	一升亭 吞介		○	47
	19日(土)	手湯でポッカポカ	小根山隆祥	○		19
	26日(土)	薬膳 厳冬を乗り切る	近藤 美春	○		51
12月	13日(火)	木の実・草の実リース作り教室	中山 麗子		○	40
3月	10日(金)	健康講座	東京薬事協会と共催		○	103

(4) 研修業務の実施

東京都が主催する薬事監視員、警察、薬学生、医学生対象の研修会を補助した。

対 象	開催回数	対象者数
① ケシ特別講座	17回	1,158名
② 薬務、保健所等研修	7回	80名
③ 警察、薬防協等研修	31回	755名
④ 学生研修	4回	55名
⑤ 日本薬剤師研修センター漢方認定研修	2回	40名
⑥ 一般(団体)指導	9回	296名

3) 薬用植物の栽培

- ① 薬事監視業務の一環とし、ケシ、大麻の栽培補助、農作業補助を行った。
- ② ケシ、大麻以外の薬用植物の栽培管理、農作業全般を行った。

場 所：東京都薬用植物園

期 間：通年

#### 4) 薬用植物の収集、保存及び展示

東京都職員の指示により行った。

- ① 種子交換 : 種子調整・整理、交換リスト作成、種子の受付発送を行った。
- ② さく葉作成: 種の同定、さく葉の作成、リスト作成、保管整理を行った。
- ③ 生薬標本の作成: 種の同定、標本作成、リスト作成、保管整理を行った。
- ④ 資料館に薬用植物の標本類の展示及びラベルの整備を行った。

#### 5) 鑑定、鑑別補助

東京都職員が行う植物鑑定、鑑別試験のために必要な、文献調査、資料の提供及び鑑別用標本の購入保管を行った。

### ■ 2号事業 生薬、薬用植物等の栽培、育成等に関わる活動

#### 1) 薬用植物栽培説明会の開催

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 開催日:平成 28 年 4 月~3 月 (9 回)  
場 所:福井県高浜町  
内 容:『生薬解説・栽培方法』  
講 師:小谷 宗司、磯田 進  
参加者:270 名
- ② 開催日:平成 29 年 3 月 27 日 (月)  
場 所:岐阜県岐阜市  
内 容:『作物栽培に役立つ木酢液-木酢液の特性と利用-』  
講 師:谷田貝 光克 (一社全国燃料協会 学識アドバイザー)  
参加者:32 名
- ③ 開催日:平成 29 年 3 月 22 日 (水)  
場 所:新潟県新潟市  
内 容:『キキョウの効能と秋田県に於けるキキョウ栽培状況報告』  
講 師:和田 浩志  
参加者:13 名
- ④ 開催日:平成 28 年 4 月~平成 29 年 3 月 (11 回)  
場 所:大分県杵築市  
内 容:『生薬解説・栽培方法』  
講 師:山上 勉、飯田 修  
参加者:1,060 名

### ■ 3号事業 生薬資源等の基原・品質・薬理等の調査研究に関わる活動

#### 1) 日本薬局方原案審議委員会への参加

(学術委員会)

- ① 生薬等(A)委員会:5 月、7 月、10 月、2 月に開催。  
山路氏、菊地氏(ツムラ)が参加。菊地氏は今年度で退任するため、後任の神本氏(ツムラ)が3月の委員会に参加。

漢方処方原案作成WG：4月、8月、11月、3月に開催。

菊地氏、神本氏、山下氏(常盤植物化学研究所)が参加

生薬等(B)委員会：6月、8月、10月、12月、1月、3月に開催。武田氏(ツムラ)が参加。

総合小委員会：第十八改正日本薬局方原案作成要領が発出。菊地氏(ツムラ)が担当。

(薬機規発第0118001号平成29年1月18日)

委員会の審議内容・結果については学術委員会にて報告された。

② 第十七改正日本薬局方第一追補及び第二追補に係る意見公募：

第一追補の意見公募を終了。

第二追補については実施中(平成29年5月31日まで)。生薬等では1品目(ユーカリ油)について公募中(以下参照)。

i) 医薬品医療機器総合機構(PMDA)ホームページ：

<http://www.pmda.go.jp/rs-std-jp/standards-development/jp/0003.html>

[第一追補；生薬等 各条他]

・ 収載総計 161 品目(新規 32 品目, 改正 102 品目, 削除 27 品目)

この内、生薬等については 55 品目。新規 1 品目(五苓散)。削除 1 品目(コート・パパベリン・アネスタミン散)

・ [製剤総則(改正)]、[一般試験法(改正)]、[参考情報(新規)(改正)]、[UVスペクトル(新規)(改正)]、[IRスペクトル(新規)(改正)](上記i)参照)

収載協力加盟会社：イスクラ産業(株)、(株)ウチダ和漢薬、救心製薬(株)、ジェーピーエス製薬(株)、大正製薬(株)、田村薬品工業(株)、(株)ツムラ、(株)常盤植物化学研究所、(株)栃本天海堂、三国(株)、養命酒製造(株)、(株)龍角散 他

③ 生薬等委員会査読会

第十七改正日本薬局方第一追補査読会(1月25日)がPMDAで開催され、菊地氏が参加。

2) 生薬栽培地の視察・情報収集活動の実施

(薬用植物国内栽培事業委員会)

① 秋田県美郷町にて薬用植物栽培地の視察と記念植樹を実施した。

- ・ 開催日：平成28年11月2日(水)～3日(木)
- ・ 見学地：記念植樹(ホオノキ植樹)、カンゾウ・キキョウの掘り取り
- ・ 講演：『平場の森・薬用樹木について』
- ・ 講師：和田 浩志先生(東京理科大学薬学部准教授)
- ・ 交流会：薬用植物等の栽培地等の意見交換
- ・ 参加者：11人

② 秋田県八峰町にて薬用植物栽培地等の視察を実施した。

- ・ 開催日：平成28年10月6日(木)～7日(金)
- ・ 見学地：八峰町栽培地視察、ブナ林の植物観察、薬用植物収穫作業

- 交流会：薬用植物等の栽培地等の意見交換
- 参加者：18人

### 3) 薬用植物国内栽培の実施

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 秋田県八峰町薬用植物試験栽培  
試作品目：ウイキョウ、カミツレ、キキョウ、シャクヤク、セネガ、トウキ
- ② 秋田県美郷町薬用植物試験栽培  
試作品目：カンゾウ、キキョウ、ノイバラ、ホオノキ
- ③ 新潟県新発田市薬用植物試験栽培  
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、カラスビシャク、ハッカ、シャクヤク、カンゾウ、カワラヨモギ、オケラ、クロモジ
- ④ 新潟県新潟市薬用植物試験栽培  
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、エビスグサ、カラスビシャク、ハッカ、シャクヤク、オケラ、カンゾウ、オタネニンジン、シソ、カワラヨモギ、アミガサユリ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ、オウレン、ハマボウフウ、コガネバナ、ヨロイグサ
- ⑤ 福井県高浜町薬用植物試験栽培  
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、エビスグサ、カラスビシャク、シャクヤク、オケラ、ハマボウフウ、アミガサユリ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ、ゲンノショウコ、オウレン、ゴシュユ、コウホネ、カノコソウ、カンゾウ、センブリ
- ⑥ 岐阜県岐阜市薬用植物試験栽培  
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、シャクヤク、オケラ、カワラヨモギ、アミガサユリ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ
- ⑦ 大分県杵築市薬用植物試験栽培  
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、センキュウ、シャクヤク、カラスビシャク、オケラ、コガネバナ、カワラヨモギ、ジャノヒゲ、キキョウ、カノコソウ、ケイガイ、イノコズチ、ハナスゲ、ムラサキ、キバナオウギ、イカリソウ、ケイリンサイシン、メハジキ

### 4) 薬用植物栽培連携協定締結式

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 秋田県美郷町薬用植物栽培連携協定締結式
  - 開催日：平成28年4月26日(火)～27日(水)
  - 調印式：薬用植物国内栽培に関する連携協定締結(継続)
  - 交流会：薬用植物等の栽培地としての可能性等の意見交換
  - 参加者：協会側：10人(藤井会長他)  
基盤研：1人(川原センター長)  
美郷町側：25人(松田町長、町議会議員他)

## ■ 4号事業 生薬、薬用植物等に携わる人材の育成に関わる活動

### 1) 薬用植物指導員認定者のフォローアップ研修 (学術委員会)

既認定指導員を対象に、より実践的に薬用植物に関する説明や案内ができるよう、さらに協会活動により積極的に協力頂くようフォローアップ研修を実施した。

#### ① 東京都薬用植物園『QRコード』貼付作業

植物の解説ラベル約700種にQRコード貼付。

- ・開催日：平成28年4月24日(日)
- ・参加者：7名

#### ② ケシの見学・研修

東京都薬用植物園ケシ柵内での見学、研修室での座学研修

- ・開催日：平成28年5月19日(木)
- ・参加者：9名

#### ③ 日本新薬株式会社 小田原総合製剤工場

- ・開催日：平成28年11月25日(水)
- ・内 容：製造工程等を見学
- ・参加者：20名

## ■ 5号事業 その他、本会の目的達成に必要と認める事業

### ■ 共益事業

主に会員向けに行われる事業で、会員の親睦や情報交換を図る目的で実施した。

#### 1) 賀詞交歓会の実施 (事務局)

- ・開催日：平成29年1月30日(月)
- ・会 場：神田明神・明神会館
- ・出席者：101名

#### 2) 薬用植物生け花展・標本展の実施 (総務委員会)

「薬と健康の週間」(東京都)行事の一環として、主催の薬祖神奉賛会に協力して実施した。

- ・開催日：平成28年10月14日(金)
- ・会 場：昭和薬貿ビル2F直会会場
- ・2階直会会場に出展した。(1社、2人) イワキ(株)
- ・出 展：薬用植物説明パネル及び種子標本を展示した。
- ・参加者：2,500名

#### 3) MCMIA(現代化中医薬国際協会)との交流 (事務局)

- ・平成28年8月に香港で開催された展示会ICMCMで東京都薬用植物園、薬用植物国内栽培事業のポスターを掲示し、先方幹部との情報交換を行った。
- ・訪問先：ICMCM展示会場、衛生局訪問

## II. 総会、理事会、委員会等開催

総会	2回	6月	3月				
理事会	3回	5月	11月	3月			
会計、業務監査	1回	5月					
総務委員会	4回	4月	8月	10月	2月		
総務WG	10回	4月~	3月				
学術委員会	6回	4月	6月	8月	10月	12月	2月
広報委員会	4回	6月	8月	11月	2月		
事業管理委員会	4回	4月	9月	12月	2月		
事業管理委員会 WG	4回	6月	7月	10月	1月		
薬用植物国内栽培事業委員会	5回	4月	5月	8月	12月	2月	

## III. 会費、会員数及び平成28年度入退会

1. 会費収入 : 会員 142 名 (合計 9,577 千)
2. 期首会員数 : 139 名
3. 期末会員数 : 142 名
4. 入 会 (9 件 : 法人正会員 2 件、個人正会員 3 件、賛助会員 1 件、サポーター 3 件)  
法人正会員 : シミックホールディングス株式会社、阪本薬品工業株式会社  
個人正会員 : 加賀 亮司、鈴木 寛章、川目 正良  
賛助会員 : 八雲町農業・農村振興協議会  
サポーター : 3 名
5. 退 会 (6 件 : 法人正会員 1 件、個人正会員 2 件、サポーター 3 件)  
法人正会員 : 株式会社トクホン  
個人正会員 : 指田 豊、川名 一栄  
サポーター : 3 名

以 上